

競技注意事項

1. 本大会は、2026年度日本陸上競技連盟規則および本大会要項により実施する。
2. 招集について（招集所は100mスタート地点避難タワー下）
 - （1）競技者は招集完了時刻までに招集所に集合し、チェックを受ける。その後、競技役員の誘導に従い競技場に入場する。投てき種目については現地招集とする。
 - （2）招集時刻は次の招集時刻一覧表のとおりとする。

競技種目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	競技開始30分前	競技開始20分前
投てき競技	競技開始40分前	競技開始30分前
跳躍競技	競技開始50分前	競技開始40分前
棒高跳	競技開始60分前	競技開始50分前

※競技者は、競技順序記載の該当する組の競技時刻に合わせて、チェックを受けること。

- （3）招集完了時刻に遅れたものは欠場とみなし、出場を認めない。
3. アスリートビブスについて
 - （1）アスリートビブスの番号は、2026年度の日本陸連登録番号とし、各自で作成し胸背部に確実に付ける。トラック競技の腰ナンバー標識は主催者が準備する。
 - （2）跳躍競技の出場者は胸背部のいずれか一方のみでよい。
4. 番組編成について（レーン順・試技順）

トラック競技のレーン順とフィールド競技の試技順は、主催者が抽選で決定し、プログラム記載の各競技者の登録番号の左に数字で示す。

5. 100m、150m、ハードル種目については、タイムレース予選を行う。

ただし、低学年男女のハードル種目については、タイムレース決勝とする。

タイムレースの結果、上位8名を決勝進出者とする。なお、同記録の場合は、写真拡大により、1/1000秒以上の差が認められた場合、優劣を判定して決勝進出者を決める。それでも決まらない場合、抽選とする。また、1000m以上の種目については、オープンレーンによるスタートで行う。
6. 競技場は全天候舗装である。競技用靴の靴底の厚さについては、シューズに関する競技規則を適用する。ただし、砲丸投、円盤投は適応外である。
7. トラック競技について

スターターの合図は英語とし、一度の不正スタートでも責任を有する競技者は失格させられる。
8. 三段跳の踏切板は、女子7m、男子9m、11mとする。

9. バーの上げ方は下表の通りとする。

走	性別	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	以降
高	男子	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	3cn
跳	女子	1m10	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m48	3cm

※天候等特別な状況が生じた場合、跳躍審判長の判断で変更することもある。

10. 走幅跳、三段跳については、本競技場内でのフリー練習は実施せず、公式練習のみとする。練習が必要な選手は、屋内走路に設置された専用エリアで事前に練習を行うこと。

11. 競技運営上、下記の種目は、計測記録を設ける。

走幅跳	男子	4 m 3 0	※ 上記の計測記録に満たない場合は計測しない。ただし、満たない場合でも必ず1回目は計測を行う。
	女子	3 m 7 0	
砲丸投	男子	7 m 5 0	
	女子	7 m 0 0	
ジャベリックスロー	男子	3 0 m 0 0	
	女子	2 0 m 0 0	

12. 練習会場は第二競技場、屋内走路とする。ただし、投てき種目については、競技開始60分前から本競技場の砲丸投ピット、円盤投サークル、ジャベリックスローピットで行うことができる。

13. 使用器具は、競技場備え付けのものを使用する。

14. 投てき種目の砲丸の重量は、男子が 5.0kg、女子が 2.72kg とする。円盤の重量は男子 1.5kg、女子 1.0kg とする。

15. U18を除く各種目3位までに賞状を授与する。

16. U16陸上競技大会参加資格について

(1) 日本陸連が定める U16 陸上大会参加標準記録に到達して参加申込を行い、日本陸連より正式参加者として認められた競技者（ターゲットナンバーが上限）が参加できる。

(2) 大会要項において競技種目に※印のある種目については、各都道府県の代表1名が参加できる。

該当種目の代表は、本大会において、当該する種目で優勝した競技者とする。ただし、女子三段跳においては、オープンで参加する選手も含めて、最も良い記録を残した競技者とする。